

平成 28 年 10 月 14 日

京都大学 経済研究所先端経済理論プロジェクト助教／准教授 (テニユア・トラック教員) 公募のお知らせ

【公募概要】

国立大学法人京都大学・経済研究所では、先端経済理論プロジェクトに係るテニユア・トラック教員として助教（又は准教授）を 1 名募集します。

テニユア・トラック教員としての助教（又は准教授）の任期は 6 年です。テニユア教員としての採用は、中間審査（着任後 3 年目まで）及び最終審査（同 5 年目まで）に基づいて、判断が行われます。通常、テニユア教員としての採用は、6 年目の開始時ですが、特に優れた研究業績を有すると認められた場合には、途中でも、採用されることがあります。詳細は「[統合経済学系教員のテニユア・トラック制に関する内規](#)」を参照してください。

選考基準は（1）研究業績が国際的評価に堪えうること（2）経済研究所の常設研究部門・センターの研究領域に沿った研究に携われること（3）共同研究に従事できることです。

【募集分野】

以下の表に示す経済研究所の常設部門・センターの専門領域を募集分野とします。

分野コード	研究部門・センター
A	経済情報解析部門
B	経済制度研究部門
C	経済戦略研究部門
D	ファイナンス研究部門
E	複雑系経済研究センター

経済研究所についての情報は下記 URL を参照のこと。

経済研究所の部門・センター・専門領域：

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/Organization.html>

経済研究所所員：<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/Faculty.html>

【応募資格・条件】

博士の学位取得者（又は採用時点までに博士の学位取得見込みの者）で、経済研究所の部門・センターの研究領域に係る研究を、現時点で推進している者を対象とします。採用選考の結果、助教（又は准教授）候補者と決定した場合、「京都大学教員の任期に関する規程」に基づき、同意書に同意できる者となります。

【審査方法】

応募書類の研究実績を上記の採用基準に照らして書類選考を行います。さらに、書類選考合格者には、研究報告及び面接による選考を行います。

【着任時期】

2017年4月1日以降

【勤務形態】

専門業務型裁量労働制（週 38 時間 45 分相当、1 日 7 時間 45 分相当）

休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日および夏季休業日

【給与手当等】

本学支給基準に基づき支給

【社会保険】

文部科学省共済組合、雇用保険および労災保険に加入

【応募書類】

(1) 応募申請書（以下の URL からダウンロードしてください。）

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/strage/ap201610jpn.doc>

（参考：JEL 分類表：<https://www.aeaweb.org/jel/guide/jel.php>）

(2) 履歴書・論文リスト（和文又は英文）

(3) 主要論文1編

(4) 推薦状3通以上（最低でも2通）

【応募方法】

上記 (1) ～ (3) の提出書類及び (4) を下記の提出先に郵送して下さい。

なお、封筒の表側に、「テニユア・トラック教員応募」の文言と分野コードを**朱書き**して下さい。（例：テニユア・トラック教員応募：B又はC）

或いは、上記 (1) ～ (3) の提出書類及び (4) をPDF形式のファイルでEメール添付にて提出して下さい。

Eメール提出の場合は、件名に、「テニユア・トラック教員応募」の文言と分野コードを含めて下さい。（例：山田太郎：テニユア・トラック教員応募：B又はC）

推薦状については、郵送またはEメールにて、推薦者から直接お送りいただいて構いませんが、応募受付け期限までに届くようご留意下さい。

応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規定に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実は非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。また、応募書類は返却しません。

【応募書類提出先】

京都大学経済研究所 人事委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

Email: recruitment@kier.kyoto-u.ac.jp

【応募受付け期限】

2016年11月30日（水）17:00（日本時間）【必着】

【その他】

京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。

【書類選考結果通知】

書類審査結果については、メール等でお知らせします。

【照会先】

京都大学経済研究所 総務掛

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

Email: recruitment@kier.kyoto-u.ac.jp